

平成25年度 学校自己評価表 (計画段階・実施段階)

福岡県立福岡工業高等学校長 印
(定時制)

学校運営計画 (4月)			評価 (3月)		
学校運営方針	教職員一体となって、学習活動及び日常生活における基礎・基本を定着させ、生徒の自己教育力を育成し、一人ひとりの進路実現を目指す。				
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標			
多様な生活環境を抱えながら学習する生徒の基礎学力向上のため、補習・補講等を実施した。その取組により、授業規律の確立や進路意識が高まった。本年度はさらに、教職員一体となって、計画的かつきめ細かな指導体制を確立し生徒の学力の向上、進路実現を図る。	授業の改善・充実に努め、基礎的・基本的な知識と技術を習得させるとともに確かな学力の定着を図る。	指導内容の厳選、評価と指導の一体化等の指導方法の改善等により、「わかる授業」を創造し、積極的な学習態度や学習習慣を身に付けさせ、学力向上を図る。			
	礼儀や責任を重んずる自律的な精神と態度の育成を図る。	挨拶、礼儀、言葉遣い、服装等の指導を通して、規律ある生活態度を身に付けさせる。			
	生徒の自主的・自発的な活動を推進し自己教育力を育成する。	学校行事を通して、本校生徒としての誇りと使命を自覚させる。			
	進路意識を高め、生徒の適性が生かせる進路の実現に努める	キャリア教育を計画的に実施し生徒の能力・適性を生かした進路選択ができるようにする。			
	体力の向上と健全な心を育成する。	生徒会活動や部活動の活性化を図り、情操・体力の向上に努める。			
	人権尊重の精神を育成し、いじめ撲滅に努める。	学校教育活動全体を通して様々な人権問題の理解を促すとともにいじめ防止に努める。			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価 (3月)		次年度の主な課題
教科指導	基礎的・基本的な知識と技術を習得させる	シラバスに沿ってわかる授業を展開するとともに、生徒の実態に応じて指導法の工夫・改善を図る。			
	教科指導の充実を図る	学校行事の精査や出張・年休は各自が授業振替を行い授業時数確保に努める。また、欠課時数連絡表等を活用し、教科担任と学級担任の連携を図る。			
	中途退学の防止と学習習慣の定着を図る	学習意欲の喚起し、学習習慣の定着を図る原級留置者の指導を保護者同席のもと実施する。			
生徒指導	基本的な生活習慣を確立させる	様々な機会を通して挨拶の励行を行い、生徒が自発的に挨拶ができるよう指導する。社会的自立に必要なマナーや規範意識を身に付けさせる。			
	生徒の自主的・実践的な活動を促進する	学校行事・生徒会活動において企画・立案や運営に主体的に取り組めるよう支援する。			
	積極的な生徒指導を推進する	家庭・地域や職場と緊密に連携して、いじめ対策に積極的に取り組み、生徒の指導にあたる。生徒の自尊感情を育むようなカウンセリング的指導を心がける。			
進路指導	進路意識を高揚させる	4年間を見通した進路指導（進路ガイダンス、進路説明会等）を通して現実の厳しさを教え進路意識を高める。社会人講和等を通して、生徒に適した職業を考えさせる。			
	マナー・礼儀を身に付けさせる	授業の始め、終わりでの挨拶、礼儀を指導する。資格取得を勧め生徒の個性を見付け自信をもたせる。			
	進路保障に努める	将来の進路を考えさせ、面談や相談を実施する。月に1回は進路指導日を導入し、漢字模擬テストを実施する。			
保健給食指導	健康管理の推進に努める	健康相談や健康診断を早期に実施し、日頃から健康管理に努める。			
		健康管理の必要性や性教育について正しい理解を促す機会を作る。			
		給食を通じて規則正しい食生活を指導する。			
人権教育指導	人権尊重の意識や知識、態度を育成する	人権・同和教育推進委員会を通して人権意識の啓発やいじめ防止に努める。			
		人権・同和教育に関する講演会や「かがやき」「あおぞら」等を使った特設授業を実施する。			
職員研修	教員の資質及び指導力の向上を図る	教職員の教育相談能力向上に役立つ研修会を企画し、実施する。			
		生徒の実態把握のための報告会を定期的実施することで、職員間の連携を強め、問題の早期解決に生かす。			
保護者との連携等	学校行事の活性化を図る	会議、儀式をはじめとする諸行事には十分な準備と打合せを行う。			
		年間の行事計画等を示しながら保護者との連携を図り、PTA 総会その他の教育活動への参観を呼びかける。			